

製品名: トポイソメラーゼIウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02703**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 91 kDa; Observed MW: 91 kDa

抗原情報

遺伝子名	TOP1
別名	TOP1; DNA topoisomerase 1; DNA topoisomerase I
遺伝子 ID	7150
SwissProt ID	P11387
免疫原	ヒトトポイソメラーゼIの合成ペプチド

背景

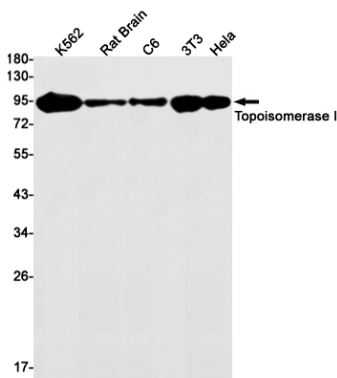
DNA複製および転写中に導入されたDNAのスーパーコイル構造とねじれ張力を、DNA二本鎖の片方の鎖を一時的に切断・再結合さ

せることで解除します。二本鎖 DNA の標的部位でエステル交換反応により一本鎖切断を引き起こします。切断可能なリン酸ジエステルは酵素の触媒チロシンによって攻撃され、DNA-(3'-ホスホチロシル)-酵素中間体が形成され、5'-OH 基を持つ DNA 鎖が排除されます。

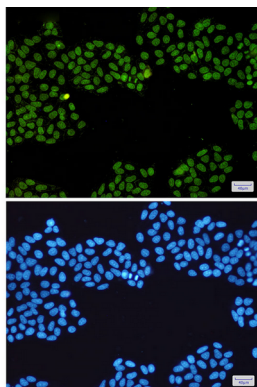
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

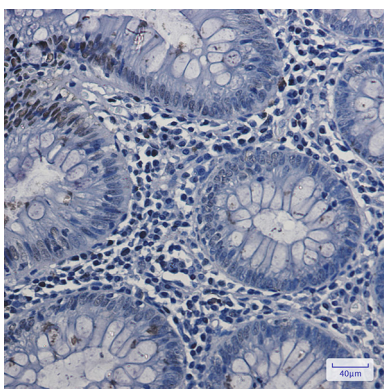
画像データ



トポイソメラーゼ I 抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、HeLa 溶解物中のトポイソメラーゼ I のウエスタンブロット分析。



HeLa 中のトポイソメラーゼ I (緑) のトポイソメラーゼ I 抗体と DAPI (青) を用いた免疫細胞化学分析



トポイソメラーゼ I 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。